

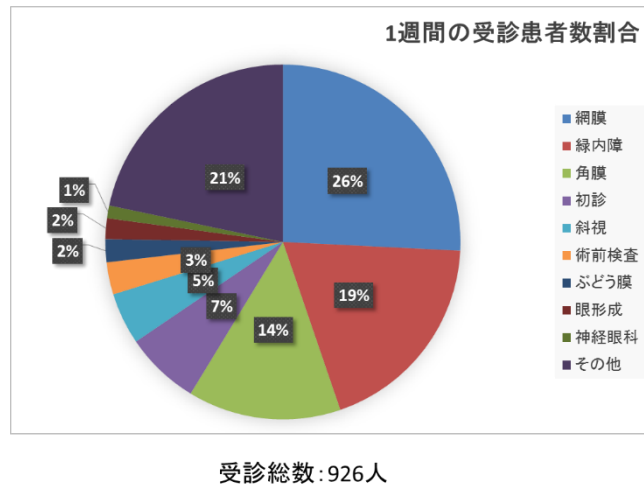
リハビリテーション部門・視能訓練士の職員教育

[教育方針]

視能訓練士の教育方針としては、学校教育で学んだ理論を基盤に実際の臨床現場で個々に考え、基礎から応用まで幅広く対応できる人材を育成すること。また、大学病院という大きな組織の中で多くの患者やコメディカルと接し対話するなかで、社会人・医療人として大きく成長することを目指しています。

[眼科外来の現状]

右のグラフはある一週間の主な専門外来の受診患者数割合を示しています。専門外来数は他の総合病院と比べても多く、検査オーダーもそれぞれの外来によって多岐にわたります。そのほか、隔週でロービジョン外来や多局所 ERG などの予約枠を設けてあります。眼鏡合わせも完全予約制にて一人の患者に対して約 1 時間の枠を設け、患者に寄り添う医療の提供を心がけて診療を行っています。



[教育プログラム]

入職 1 年目には眼科にて視能訓練士が行うすべての検査技術を習得し、一人で時間外業務を任されるようになることを目標としています。2 年目にはより高い検査技術を習得し、検査担当として他の視能訓練士と同じレベルの業務を遂行できるようになることを目標としています。そして 3 年目には翌年の将来構想をふまえ、更なる専門性の向上とともに学術活動にも励んでもらいたいと考えています。

